

# 勤務先の養豚経営を承継、目標に向かって規模拡大中

## 1 現在の農業経営の概要

経営地・氏名	鹿児島県 市坪 広志 さん
経営開始年	平成27年（2015年）
営農類型	養豚一貫（黒豚）
経営規模	母豚80頭
公庫資金ご利用歴	<就農時> 農場購入等のため青年等就農資金 （15百万円） <就農2年目> 豚舎増築のため青年等就農資金 （8百万円） <就農4年目> 第二農場購入等のためスーパー L 資金 （60百万円）



## 2 就農までの経歴・就農のきっかけ

- ・高校を卒業後、地元で就職先を探す中で、地域の特産である黒豚の農場に就職。
- ・従業員として10年以上の経験を積み、一通りの飼養技術を習得。自ら思い描く方法での飼養をしてみたいという気持ちから、漠然と経営への挑戦を考えるようになった。
- ・勤務先の経営主が廃業することとなり、従業員であった自分に承継の打診あり。これを機に自ら養豚経営にチャレンジすることとした。

## 3 今後の抱負/後に続く新規就農者の方々に送るエール

### ◆今後の抱負◆

自分の中で将来の目標所得額を決め、それを目指してがんばっています。

また、その目標に至るための現実的なステップとして、規模の拡大や、法人化を計画しています。

### ◆後輩の皆さんへ◆

経営主となった現在は、自分の思い描くとおりの飼養ができ、充実しています。

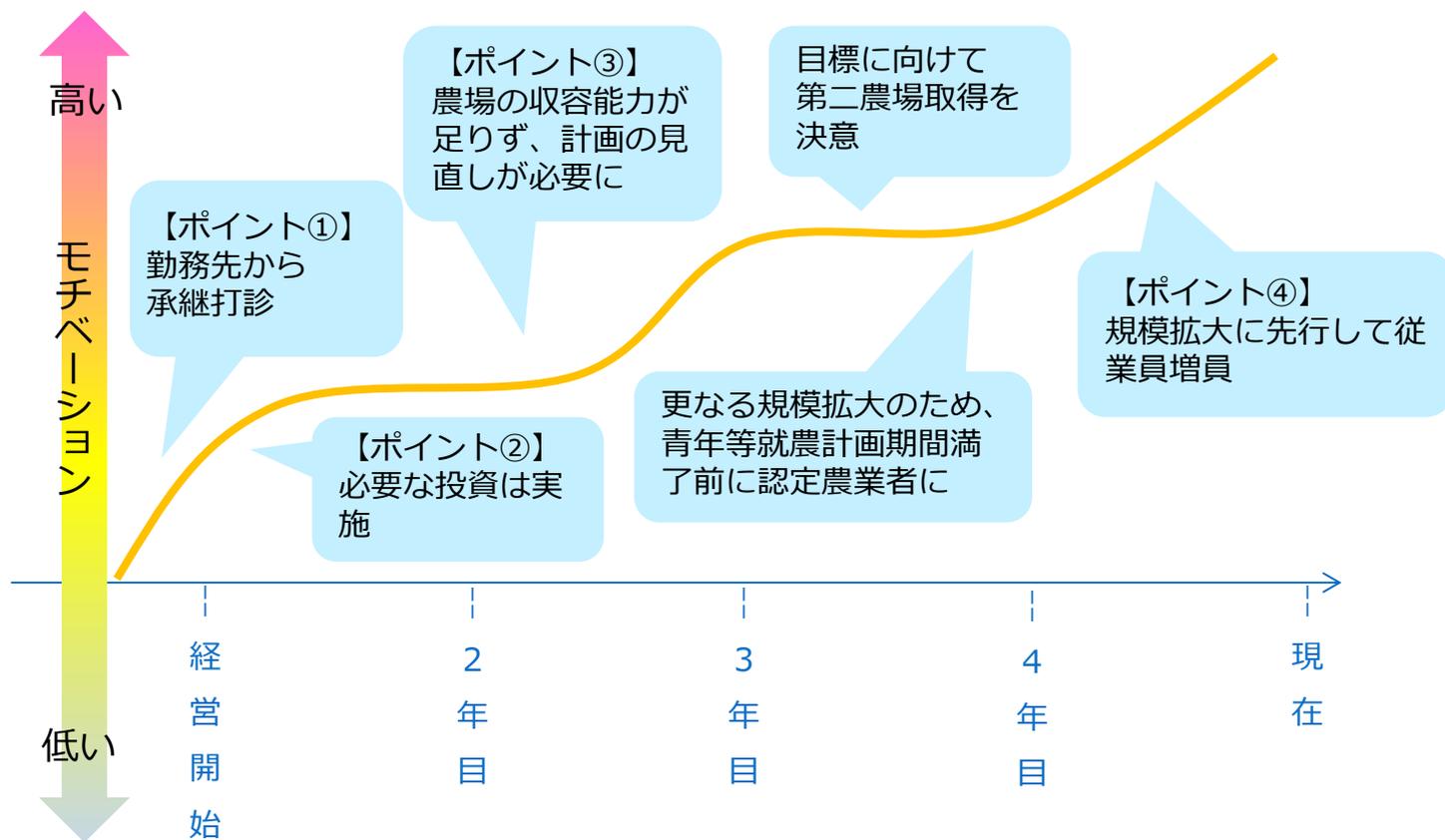
一方で、様々な不安や、休みをとりづらいなどの苦労がありますが、熱意があれば乗り越えられます。やる気を強く持ってがんばってください。

また、私は稼働中の農場を豚ごと引き継ぐことができたため、経営開始当初からコンスタントに売上を得ることができ、資金繰りの悩みは少なかったと思います。もしそのような物件があれば、新たに経営を開始する人にはおすすめです。



取得後、改築中の第二農場

## 4 市坪さんのこれまでの経営とモチベーショングラフ



## 5 モチベーショングラフのポイント解説

主なできごと / 経営上の課題と解決策

- ① 勤務先から承継を打診されましたが、当初は、資金の調達先、計画の作り方など全く分かりませんでした。しかし前向きに挑戦したい気持ちがあったため、業界の知人に聞きながら、一つずつクリアしていきました。
- ② 周囲の助言もあり、なるべく経費は抑える、また経費の3か月分は常に貯めておくなど、堅実な経営を心がけています。一方で、収支に直結するような投資は必要と判断し、惜しまず行っています。例えば、技術の習得は重要ですが、経験による勘は100%ではないと考えているため、空胎期間を防ぐための妊娠鑑定機は経営開始初期から導入しました。この結果、繁殖成績の低下を防ぐことができ、計画達成に繋がっています。
- ③ 想定より農場の収容能力が足りず、計画の見直しが必要となりました。これまでの実績を踏まえ、借入により増築を行った場合をシミュレーションした結果、収支・返済計画に無理は生じないと分かったことから、再度借入を行うという決断をしました。
- ④ 規模拡大のため、第二農場を取得。一部改築中でフル稼働はまだですが、先行して従業員を増やすことに。固定費が増加しますが、生産体制整備のための必要な先行投資と捉え、経営に無理のない範囲で増員しました。人材が育てば、目標に向けて次なる規模拡大を視野に入れたいと思います。